

# 国際平和協力活動へ

陸上自衛隊 第10師団（愛知県名古屋市守山区）

## 国連兵力引き離し監視隊：UNDOF

(United Nations Disengagement Observer Force)



自衛隊ゴラン高原派遣は、1996年（平成8年）以降、自衛隊が国際平和協力業務の一環として、シリアとイスラエルとの境界に位置するゴラン高原へ派遣されています。

第四次中東戦争後、イスラエルとシリア間の停戦監視と両軍の兵力引き離しなどに関する合意の履行状況の監視を任務として、1974年（昭和49年）に、国連兵力引き離し監視軍が創設され、ゴラン高原の兵力引き離し地域に展開している。

主な活動とし、UNDOFの活動に必要な物資の輸送、道路の補修及び器材の整備などに携わり、UNDOFの活動全体の基盤を支えています。

現在、第32次派遣隊員として、東海北陸6県を管轄する陸上自衛隊第10師団の隊員で編成され、隷下部隊の第33普通科連隊（久居）の隊員も派遣されています。



他国の司令部と調整する自衛官

警備用小銃のリスト照合

現地での事務手続き

UNDOF ウォルフガング・イエルク司令官激励

引継調印式（写真：上）

補給品の確認作業（写真：下）